

地球の美しい空を守るため、JALだからできること

京都議定書の発効、洞爺湖サミットが開催された2008年、各国は地球温暖化防止への取り組みに向けて、英知を絞っています。

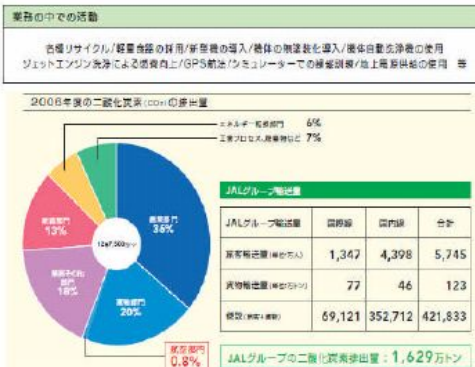
JALグループは、環境に負荷を与えざるを得ない航空会社の責任を再認識し、さまざまな取り組みを推進しています。JAL「空のエコ」をご紹介します。

JALグループの環境取り組み

きれいな地球を子どもたちに手わたしたい「空のエコ」プロジェクト。



JALグループでは、地球と共生し、次世代に豊かな環境を残すことを目指して、地球環境プロジェクト「空のエコ」を進行中です。



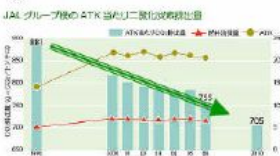
～JALグループの環境活動の取り組み～

環境負荷を減らすための様々な活動



JALグループの環境取り組み

JALグループの排出量削減目標



古い機材の退役



新しい機材に更新



- ・制服類の再利用
- ・機内誌、使い終わった新聞紙
- ・アルミ缶、ペットボトル

機内用品の軽量化



JALグループの環境取り組み

環境にかかわる社会活動

飛行機から森林火災を発見して、地球温暖化を防止に協力しています。



シベリアから見た森林火災の発見協力



【シベリア森林火災発見通報の流れ】



JALグループの環境取り組み

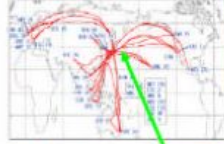
環境にかかわる社会活動

高度1万メートルの大気を採取して、気候変動を解明する研究をサポートをしています。



JALでは5機の航空機機体中に「大気観測機器」を取り付け、二酸化炭素(CO₂)の濃度を測定しています。研究機関に貴重なデータを提供しています。

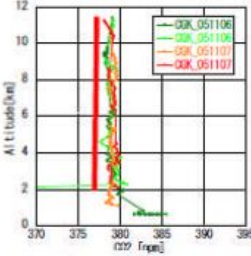
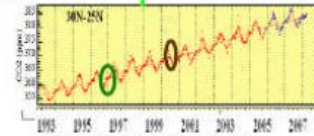
ボーイング777-200(3機)、ボーイング747-400(2機)に搭載



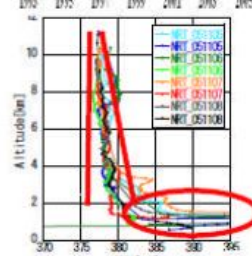
ボーイング777-200 ボーイング747-400

CO₂濃度連続測定装置

上昇・下降中は高度300メートル以上で10秒毎に測定し、高度分布を測定
水平飛行中は高度、経度分布を1分毎に測定しています。



熱帯のジャカルタ



成田

国立環境研究所、気象研究所などの研究機関に協力しています。

JALグループの環境取り組み

環境にかかわる社会活動

空の仕事を通してわかる環境問題を子どもたちへ語る。JAL出前講座「そらいく」でパイロットがその体験を伝えています。



運送編者員として環境のために何かできることはないか、という疑問からボランティアとして全国各地で地球環境の大切さを子どもたちに伝える活動を行っています。



洞爺湖サミットに向けて北海道で開催



大磯小学校3年生のまなざし



機長と一緒に紙飛行機づくり



紙飛行機の初飛行

JALグループの環境取り組み

環境にかかわる社会活動

緑を育む活動への参加・支援をととして、より良い地球環境を取り戻すお手伝いをしています。



台風で大きな被害を受けた支那遼寧周辺の森の復興プロジェクトに参加

「北海道ボランティア植樹」



植樹



中国内モンゴルの沙漠化防止支援 (財)オイスカの活動に協力



上空から見た沙漠化



沙漠化防止のためのセンター



手作りの水まき装置



植樹の苗の栽培



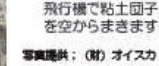
植樹ボランティア中学生



植樹の様子



粘土団子：木の種を入れた植樹方法



飛行機で粘土団子を空からまきます

写真提供：(財)オイスカ



以上

皆様に、私どもの活動をご紹介する機会を与えて頂きありがとうございます。

JALだからできること「空のエコ」これからも宜しくお願い致します。 日本航空 地球環境部